

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（166）」

2. 日時：令和5年7月12日(水) 13時30分～15時45分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官

※、山下技術研究調査官

北海道電力株式会社：松村執行役員 他7名

三菱重工業株式会社 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年7月5日に受取済み>>

- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
00:00:03	規制庁谷ですそれではヒアリングを開始します。今日のヒアリングの内容としては、泊発電所 3 号炉、基準津波に関するコメント回答。
00:00:13	地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせということで、
00:00:18	7 月 5 日に資料をいただいてまして資料としては二つ、2 冊あります。まず資料の、
00:00:27	説明をですね、前回比嘉やっていますので、そっからの差分というか
00:00:34	修正したところを中心に簡潔に説明してください。
00:00:39	はい。北海道電力の松村です。本日の基準津波のヒアリングよろしくお願ひいたします。
00:00:46	説明は青木から 20 分程度お願ひいたします。変更点を中心に説明させていただきますよろしくお願ひいたします。
00:00:56	北海道電力の青木から説明させていただきますと資料の方では本編資料のほうを用いて説明させていただきます。
00:01:05	と本編資料の 1.1 章というところが今回の説明概要になりますので、その概要について前回からの差分というところをメインに説明させていただきます。
00:01:16	早速ページめくっていただいて、
00:01:18	2 ページ目と 3 ページ目に、
00:01:21	今回の説明のハイライトというところでこれまでの審査経緯と本日の説明事項についてまとめております。
00:01:29	まず水位上昇側についてです。泊発電所の津波の特徴は以下の特徴がございます。まず一つ目の矢羽根で、発電所に大きな影響を及ぼす地震に伴う津波は幅を持つ波源域に想定されます。
00:01:43	日本海島縁部に想定される地震に伴う津波になります。
00:01:47	また、日本海島縁部に想定される地震に伴う津波では、敷地に直接到達するピークで、第一波と敷地の南側の岩内側から反射して敷地に到達する第 2 版のピークが発生しております。
00:02:02	地震により発生すると想定される地震、陸上地すべりに伴う津波は単体でも敷地に一定の影響をおよぼし、地震に伴う津波と、この陸上地すべりによる津波の
00:02:13	組み合わせ評価の際にピークが重なることによって影響はさらに大きいものとなっております。
00:02:19	これらの特徴を踏まえて以下の検討を実施しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:23	と陸上地すべりによる津波とピークが重なる可能性のある地震に伴う津波について、ピークの発生時刻に最も影響を与える波源位置に着目しては下幅をもちまっせ、日本海島縁部の中で網羅的に検討しております。
00:02:38	この波源位置以外の波源に関する諸元について、網羅的に変動を考慮し影響の程度を把握しております。
00:02:46	その上で、陸上地すべりによる津波と重なる地震に伴う津波の波源のうち、ピークの水位が大きくなるケースを選定して組み合わせ評価を実施しております。
00:02:57	これらの検討によって日本海島縁部に想定される地震に伴う津波と地震により発生する陸上地すべりによる津波の組み合わせ評価の結果が大きくなる波源を選定いたしました。
00:03:09	ここで当初では地震に伴う津波の最大値となる波源を対象として組み合わせ評価を実施しておりました。
00:03:15	これは結果に基づいて当初示しておりました各評価地点における組み合わせ評価の最大ケースを更新した。
00:03:23	これらのことから、発電所における地震に伴う津波の特徴を考慮した場合に、今回の検討結果が最大ケースを評価する場合の網羅的な検討というものにしております。
00:03:34	続いて3ページの水位下降側です。
00:03:38	前回の審査会合では貯留堰を下回る継続時間とパルスを考慮しない時間を用いた評価結果について説明いたしました。
00:03:46	と今回水位下降側の評価が保守的になるように、施設側の評価との整合を図り、
00:03:52	保守性を考慮した時間を用いた評価といたしました。
00:03:55	その結果上昇側と異なり水加古側では波源の入れ替わりが発生しないことを確認した上で、組み合わせ後の水位下降側の評価の影響に大きい波源を選定しております。
00:04:07	最後、敷地に対して置けないと及ぼす波源の選定方法です。
00:04:11	上昇側下降側において地形モデルごとの最大ケースを、敷地に対して大きな及ぼす影響を及ぼす波源に選定しました。
00:04:19	その選定の結果は水位上昇側については14ケース、成果効果については4ケースとなったという結果となります。
00:04:28	続きまして4ページ5ページの目次と説明範囲については変更点ございませんので割愛します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:36	続いて 6 ページから指摘事項に対する回答方針になります。
00:04:41	資料の構成としましてまず上段の表のところで指摘事項とその回答方針。
00:04:47	それに対する検討結果というところで下側のテキストボックスで結果をまとめております。
00:04:53	6 ページでは指摘事項 33 番のうち上昇側についてまとめたものになります。このうち朱書きのところが要点になりますので朱書きのところについて簡単に説明させていただきます。
00:05:05	まず指摘事項ですが、現在の組み合わせ候補としている波源で組み合わせ後の性に影響の大きい波源が選定できているのか。
00:05:12	についてでこちらの回答としましては、前回の会合では一部の断層パターンを対象に検討しておりましたが今回は、網羅的に断層パターン断層パラメータの変動を考慮して、
00:05:24	波源を選定しているという回答方針にしており、
00:05:28	続いて指摘事項の一つ目の矢羽根です。
00:05:31	と組み合わせ時間範囲において第一波または第 2 版のピークが生じる波源を特定して示すこと。
00:05:37	こちらの回答方針としては、そのまま組み合わせ時間範囲において第一波または 2 羽のピークが生じる派遣を特定して示す方針としており、
00:05:47	続いて指摘事項の二つ目の矢羽根。
00:05:50	波源のパラメータを変更した場合の葉系に与える影響を考慮して検討すること。
00:05:55	につきましては、各断層パラメータの変動を考慮した追加解析を実施しまして、ピークの性が大きくなる波源を選定しております。
00:06:04	その詳細パラメータスタディの結果より選定した波源、組み合わせ時間範囲におけるピークの水位が大きい波源を対象に組み合わせ評価を実施して、組み合わせ評価の最大ケースを示すという方針にしております。
00:06:17	三つ目の矢羽根で、川白の第一波に加え第 2 版による影響を示すことを、
00:06:22	こちらは川白のは形より大%と比べて第 2 版の影響が小さいことを示す。
00:06:28	その上で、川白の第 2 はと地震津波の第 2 はの組み合わせ評価を実施しまして、この第 2 はの影響が小さいというところを定量的に示すという回答方針にしており、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:38	ます。
00:06:40	それらの検討結果というところで、網羅的に断層パターン断層パラメータの変動を考慮した追加解析の結果、
00:06:47	断層パターン7のアスペリティ位置の変動を考慮したことによって地震津波の第2版のピークが増加しまして、前回の審査会合で示した組み合わせ評価における最大計測が回ったと。
00:06:59	いう結果になっております。
00:07:02	続いて7ページをお願いします。
00:07:05	こちらでは指摘事項の33番のうち下降側についてまとめたものです。
00:07:10	組み合わせ後の水に影響の大きい波源が選定できているのかについての回答方針については、
00:07:16	令和5年の4月27日の耐津波設計方針における会合を、
00:07:22	における評価方針を踏まえた上で基準津波の審査における水位下降側の評価への影響を検討する。
00:07:29	耐津波設計の施設評価に対して安全側の評価となるように保守性を考慮した時間を追加古川の評価項目に追加しまして、その最大ケースを基準津波に選定すると。
00:07:39	いう方針にしております。
00:07:42	また指摘事項の矢羽根というところで、位相の変動を考慮する必要がないとする根拠というところですが、回答方針としては、
00:07:50	貯留堰を下回る継続時間、パレスを考慮しない時間に対する移送の変動を考慮する必要がないとする根拠の説明については、
00:07:58	保守性を考慮した時間の最大ケースを水位下降側の基準津波として設定する方針に変更したことから、
00:08:05	保守性を考慮した時間の最大ケースの妥当性を示すことで回答とする。
00:08:10	これらの検討結果というところで、基準津波として選定する保守性を考慮した時間の最大ケースとして、組み合わせ後の成果後半の評価に影響の大きい波源であります断層パターン7、
00:08:21	を選定しております。
00:08:23	その結果安井加古側では波源の入れかわりが発生しなかったと、いうふうにまとめております。
00:08:30	最後8ページ。
00:08:32	こちらは、
00:08:34	敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定に関してです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:08:39	先行サイトの評価例、防波堤の有無を分けて波源を選定するところを参考にした上で、泊サイトの特徴を踏まえた上で整理しております。
00:08:48	こちらの回答方針としては、
00:08:50	当先行サイトでは地形モデルごとの最大ケースを基準津波にしているところを参考にした上で、
00:08:56	地形モデルごとの最大ケースを敷地に対して大きな影響を及ぼす波源に選定しております。
00:09:02	その考えが二つの矢羽根でまとめておまして、
00:09:06	基準津波の審査では泊発電所の特徴、様々な方向から津波が伝播するに対して、
00:09:12	防波堤の損傷を考慮した地形モデル1から3の違いによって水
00:09:17	保守性を高齢者時間に及ぼす影響が異なり、選定される波源が異なっているところを踏まえて、地震に伴う津波のパラメータスタディの段階から地形モデルごとの最大ケースを選定していると。
00:09:29	いうところ。
00:09:30	またこの地形モデルの違いによって、これらの評価結果に及ぼす影響が異なるということから、対津波設計方針においても、防波堤の損傷考慮した地形モデル1から3は、
00:09:41	を検討する必要があると考えているところの考えに基づいて、
00:09:47	衛藤。
00:09:48	地形モデルごとの最大ケースを選んでいくという考えにしております。
00:09:52	その検討結果については、記載の通りということになります。
00:09:57	9ページ以降は、これらの回答方針に基づいた概要を整理したものです。
00:10:03	10ページから12ページにかけては、前回から大きな変更ございませんので、13ページから説明させていただきます。
00:10:13	こちらは上昇側の評価方針のまとめに該当するところになりまして、
00:10:17	上段テキストボックスの一つ目の丸、既往の解析結果を用いた分析より、組み合わせ時間範囲において第一波または第二はピークが生じる波源のところを特定して指名すると。
00:10:29	いうところにしております。こちらは下段に書いておりますフローの一番左率の説明となります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:36	こうして特定した波源、組み合わせ時間範囲にピールが入る波源を対象に、各断層パラメータの変動を考慮した追加解析概略詳細パラメータスタディを実施しまして、
00:10:47	ピークの水位が大きくなる波源を選定しております。
00:10:51	こちらはフローにおける中央の列の、
00:10:54	記載になります。
00:10:55	三つ目の丸で、これらより選定した波源、組み合わせ時間範囲におけるピークの推移が大きい波源を対象に、
00:11:03	組み合わせ評価を実施しましてその最大ケースを示すと、こちらはフローの一番右列となり、
00:11:09	なお書きのところで書いておりますが、断層パターン1から4の扱いについては、断層パターン5から8をそれぞれ西へ25キロ移動させた位置にある同じ断層パターンの波源でありますので、この断層パターン5から8を基準の1として東西への移動を検討することで評価を代表、
00:11:27	させるという考えにしております。
00:11:30	またフローの流れで、一番左列の既往の解析結果を用いた分析の中では、まず地震の発生範囲を整理した上で、ピークが重なる東西の移動量、
00:11:41	を整理しまして、概略パラメータスタディの対象ケースを選定するという流れで整理しております。
00:11:47	中央地震に伴う津波の追加解析では、概略パラメータスタディでは、東西方向位置と矩形久野神モデルの検討。
00:11:55	詳細パラメータスタディでは、アスペリティ位置と断層面上縁深さの検討をしております。
00:12:01	一番右列の組み合わせ評価はその通りの組み合わせ評価を実施したという流れになります。
00:12:08	続いて14ページをお願いいたします。
00:12:14	14ページでは地震の発生範囲の整理というところで、
00:12:18	既往検討における東西方向位置のパラメータスタディの位置付けについて整理しております。
00:12:24	一つ目の○ですが、ここで想定波源域、東西幅50キロのもの種類については北海道南西沖であると考えておりますので、この日本海島縁部の範囲のうち北海道の南西沖の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:12:37	東端を網羅できる 1 発、概ね日本海島縁部の範囲に収まる位置ということで、この想定波源機の 50 キロの幅の位置を設定しております。
00:12:47	一方、この日本海等 m の水色の範囲のうち、
00:12:51	この想定波源域の赤枠ではカバーできない範囲がありますその範囲については、東西方向位置のパラメータスタディというところでカバーするような検討を実施してきたと。
00:13:02	というのが、寄与検討の位置付けとなります。
00:13:06	続いて 15 ページお願いします。
00:13:10	この東西方向位置の移動量については、5 キロメートルピッチで東西に移動させた場合に日本海島縁部の範囲を網羅できる位置というふうに設定しております。
00:13:20	ここで断層パターンや矩形くの字モデルの、
00:13:23	は、モデルの違いによってそれぞれ日本海島縁部の範囲を網羅できる移動量が異なるというところからそれぞれ異なる移動量に設定しております。
00:13:33	例えば一番左上の断層パターン 5 の矩形モデルの例で説明していきますと、
00:13:39	この日本海島 m の範囲を網羅できる移動量というものが、断層パターン 5 の基本位置から西へ 45 キロ東 30 キロという範囲に移動させると日本海島 m の範囲を網羅できる。
00:13:51	という考えでこの移動量を設定しております。
00:13:54	これが地震の発生範囲というところで整理したものです。
00:13:58	続いて 16 ページが、ピークが重なる東西の移動量。
00:14:03	を整理したものです。
00:14:06	もう一つ目の○ですが、既往の解析結果を踏まえて地震に伴う津波の第 2 版のピークの位相がずれることによって、蚊柱の組み合わせ時間範囲においてピークが生じる波源。
00:14:18	断層パラメータの傾向を特定しました。
00:14:21	この組み合わせ時間差に対応する移動量については、波源の位置を東西方向を拾わずらした場合に、
00:14:27	水位時刻歴は県の磯が 30 秒程度、
00:14:30	変わるという傾向を踏まえて設定しております。
00:14:33	これの詳細についてはホームページ両側のところで掲載しているものです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:14:38	この結果として断層パターン 5 と 7 は東に移動させた場合に重なる結果となりましたので、断層パターンごと 7 を対象に、概略パラメータスタディを実施するという方針にしております。
00:14:51	またここでは整理しておりませんがくの字モデルについても同様な整理を行った結果、各断層パターンで重ならない結果になりましたので検討対象外としております。
00:15:02	ここで断層パターン 5 の一番左率の場合を用いて例示させていただきます。
00:15:08	一番上段の地震の発生範囲については前段で説明した通り、断層パターン 5 でいうと西へ 45 キロから東へ 30 キロの範囲で地震が発生すると。
00:15:19	②のピークが重なる東西の移動量というところで、この葉系の第 2 はピークの位置を踏まえて、
00:15:26	ピンクの組み合わせ時間範囲に入る移動量を考えたときに、江藤東縁 30 キロから 45 キロずらすと。
00:15:34	ピークが重なるという結果になると、このこれらの、
00:15:38	①と②の上段のラップする範囲というところが、
00:15:44	組み合わせ時間範囲においてピークが重なる移動量というところで、朝パターンこの例で言いますと東へ 30 キロずらした場合に重なるというふうにまとめております。
00:15:54	同じような考えで断層パターン 5 から 8 まで、矩形くの字で整理しているものです。
00:16:00	17 ページについては、西に移動させた場合で、
00:16:05	地震津波の第一波と川白の一般の組み合わせでも考えて整理したもので、同様な考え方なので、説明を割愛させていただきます。
00:16:15	続いて 18 ページで、
00:16:18	先ほどまでの説明でピークが重なる移動量の範囲を特定しましたのでそこから概略パラメータスタジオ対象ケースを選定しております。
00:16:27	波源が発電所に近づくにつれて、具体的な東へ移動させるにつれて水位が大きくなると。
00:16:33	いうところを踏まえて東西の幅を持つ②、
00:16:37	ピークは東西の移動量のうち発電所に近くなる最も東に位置する移動量のケースをピークの水位が大きくなる波源として概略パラメータスタディの検討対象として選定しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:49	その具体的な結果というところで、東移動の場合ですと断層パターン 5 と 7 の矩形モデルの二つを、
00:16:57	概略パラメータスタディの対象ケースにしております。
00:17:01	ぜひ西井堂の場合ですと、断層パターン 5 から 8 と矩形黒字ですべて重なる結果になりましたのでこのうち一番東に位置するケースを概略パラメータスタディの対象ケースにしております。
00:17:14	続いて 19 ページで、概略 PRA パラメータスタディの概要をまとめております。
00:17:21	この概略パラメータスタディでは東西方向位置と矩形く の字モデルの変動を考慮してピークの水位が大きくなる波源を、
00:17:28	詳細パラメータスタディの検討対象として選定しております。
00:17:32	結果というところで東井戸では 2 ケース、石堂の場合では 3 ケース選定しております。
00:17:39	東井戸の場合ですと、概略パラメータスタディに進んだケースがすべて詳細パラに進んでおりますので説明は割愛し、
00:17:47	縁移動の下段で整理しているところについてです。
00:17:51	まず、矩形モデルと区野地モデルを比較した場合には加来野地モデルの水位が大きいのというところ。
00:17:57	また傾斜方向東傾斜の場合というところで、断層パターン 5 と 6 を比較した場合には、6 の水位が大きいののでこれを詳細パラメータスタディの対象ケースに選定しております。
00:18:09	西傾斜の場合で断層パターン 7 と 8 の比較で言いますと、7 の方が概ね水位が大きいののでこれは詳細パラメータスタディの対象にしております。
00:18:18	これに加えて断層パターン 8 では、増井が急増しているという特徴を踏まえてこれも詳細パラメータスタディの対象ケースに選定しております。
00:18:29	続いて 20 ページが詳細パラメータスタディの説明となります。
00:18:35	の詳細パラメータスタディではアスペリティ位置等断層面上縁深さの変動を考慮した影響を検討しております。
00:18:43	その選定した結果というところで、東移動の場合ですと 3 ケース、西井戸の場合ですと 3 ケースを選定しております。
00:18:51	ここで検討例というところで右側には計載せております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:55	ここで検討例で見えていきますと上段はアスペリティ値を変動させた影響を確認したもので、この第2版のピークに着目して、もうこの覇権を見たときに一番大きくなる条件というところで、
00:19:07	アスペリティー位を県設定しております。この場合ですとD南20にした場合に大きいのでこのケースを押す。
00:19:15	組み合わせ評価に進むケースに選定しております。
00:19:18	下段は断層面上縁深さの検討をしたもので、こちらの場合は5キロメートルが厳しくなる条件というところでこれを選定しております。
00:19:28	そして21ページで組み合わせ評価を実施したもので、
00:19:33	小西井戸と東移動の結果を比較した場合には、東井戸の場合の方が影響が大きい波源というところを記載しております。
00:19:43	ここまでの、上昇側のコメントの頭いっぱいに関する検討になります。
00:19:49	23ページ以降が川白2による影響についてまとめたものです。
00:19:55	と24ページ25ページで検討方針をまとめておまして、24ページの上段に書いているところについては前回の会合での説明内容となります。
00:20:05	こちらをまとめたのが矢印下側になっておまして、
00:20:09	とは形を見ていきますと、川下第2は以降の後続については、第一波のピークと比べて水が小さいので組み合わせにより水位が大きくなる可能性はないと考えております。
00:20:20	一方、地震に伴う津波の第2は、については水位が大きくて、
00:20:26	波源位置を西に移動させた場合には、買わしら2羽と地震津波は重なる可能性がありますので、
00:20:33	これが重なった場合に水が大きくならないというところを定量的に評価しております。
00:20:38	その詳細は25ページの方でまとめておまして、
00:20:42	この川白には一と重なる地震津波のピークを検討するために、波源位置を東西に移動させた結果を用いて検討対象にするピークを整理しております。
00:20:53	ここで波源を東に移動させた場合と西に移動させた場合、二通りで検討しておまして、東に移動させた場合ですと、かわしらにはなピークと重なる関係にあるのが、第3%のピーク。
00:21:06	になりましてこの第3%のピークは、
00:21:08	小さいというところで対象外にしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:21:12	波源位置を西に移動させた場合ですと、川下 2 羽のピークと、地震津波の 2 はピークが重なる関係にありますのでこの 2 はピークを対象に整理しております。
00:21:23	またこの 2 羽のピークのうち最も水位が大きいものは断層パターン 6 になりますので、この断層パターン 6 を対象に、
00:21:30	さらに位相を右にずらして、波源位置を西にずらす検討をして定量的に影響がないということを確認する方針にしております。
00:21:40	その結果は 26 ページになりまして、
00:21:44	上段が、
00:21:46	とかはしらに羽藤地震津波班の組み合わせの結果、
00:21:50	下段が最終的な最大波源になります川白一派と地震津波に組み合わせの結果を比較したものです。
00:21:58	この結果を見ていきますと、川下 2 羽の方は、
00:22:01	衛藤組み合わせでも水が小さいので影響が小さいというふうにまとめております。
00:22:07	27 ページ以降で水加古川について整理しております。
00:22:13	28 ページで、検討のフローを書いております。
00:22:17	と耐津波設計方針の審査会合を踏まえて基準津波の審査における水位下降側の評価について検討フローをまとめたものになっております。
00:22:27	一番上段に来るものが耐津波設計の評価方針、その下段というところで、基準津波における水位下降側の評価という流れで整理しております。
00:22:38	具体的な中身というところ、次のページ以降で 29 ページというところで、
00:22:43	基準津波の審査における水位下降側の評価方針をまとめております。
00:22:48	これはプラント側の評価に対して安全側の評価になるように、基準津波の審査における水位下降側の評価として保守性を考慮した時間を水位下降側の評価項目に追加しまして、
00:23:00	3 ポチから 5.8 章の評価を行った上で最大ケースを基準津波に設定するという方針にしております。
00:23:08	ここで評価項目の変更前後を表でまとめておりまして、大きく変えたところというところを黄色ハッチングにしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:16	保守性を考慮した時間を追加したというところが1点と、またこれまで評価しておりました中離席を下回る継続時間とパルスを考慮しない時間については参考値という扱いで評価項目に残しております。
00:23:30	そちらの、
00:23:32	説明が、※3の注釈で書いておりました、
00:23:35	解析の対象ケースを幅広く選定して波源選定を行うことで、安全側の評価にするために参考値として評価項目に設定するという位置付けにしており、
00:23:45	ます。
00:23:47	続いて30ページが水位下降側の基準津波の選定方針になります。
00:23:53	こちらの説明については前回と同様でして追加向側の下降量については貯留堰を設置するので、保守性時間に代表させる。
00:24:02	下回る継続時間パルスを考慮しない時間については保守性時間の方が厳しくなるのでこれを最大ケースに選ぶと。
00:24:09	いうふうに線整理しております。
00:24:13	31ページが、
00:24:14	同じ流れで整理したものになりまして、最終的な結論が31ページの右下になります。
00:24:21	貯留でき下回る継続時間及びパルスを考慮しない時間については、保守性を考慮した時間に代表させることで、対津波設計方針で実施する貯留堰の容量の比較の観点から安全側の評価となる。
00:24:34	また施設評価に対して安全側の評価になるように保守性を考慮した時間の最大ケースを加古川の基準津波として設定するという方針にまとめております。
00:24:45	また32ページでは元の入れ替わりの確認というところで、
00:24:50	保守性を考慮した時間について組み合わせ後の水位下降側の評価に影響の大きい波源を選定されているかというところを確認しております。
00:24:58	こちらの結論というところは、地震津波の最大ケースと組み合わせの最大ケースで、
00:25:04	ともに断層パターン7のケースが選定されており、主要な断層パラメータの変更は発生していないというふうにまとめております。
00:25:13	33ページ以降が波源選定の説明になりまして、
00:25:20	34ページに上昇側についてまとめております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:24	こちらは回答方針でも説明したところになりますので説明は割愛させていただきます。
00:25:31	加古川についても同じ考えでまとめておりまして最終的なまとめが 36 ページ。
00:25:36	になります。
00:25:39	36 ページでは、左側に上昇が右側に加古川というふうにまとめておりまして、
00:25:45	一番左の波源のところに棒、防波堤の損傷状態とひもづけて、ナンバリングしておりましてその結果上昇側 14 ケース、加古川 4 ケースというふうに整理しており、
00:25:58	と駆け足でしたが、説明は以上とさせていただきます。
00:26:05	はい。他に説明ありがとうございました。
00:26:08	補足説明資料とかは特に変更なしってことですね。
00:26:13	すみません補足説明資料も変更点ございますのでちょっと簡単にどこどこだっけっていうのを教えてくださいと補足説明資料のページ番号で言いますと、
00:26:27	と 72 ページの、
00:26:29	違う、失礼しました。
00:26:33	82 ページからお願いします。補足説明資料の 6 章の、
00:26:38	防潮で前面上昇側の評価の妥当性確認というところを変更しております。
00:26:44	82 ページ、こちら検討方針になっておりまして、下段のところまとめになりまして、星野まとめとなりまして、
00:26:54	5.8 章の最大ケースのうち、追加解析により選定された膨張で全面上昇側最大ケースを対象に、防潮で前面の評価を 3 号車成功 12 号取水口で代表させる。
00:27:06	妥当性を示すという方針でまとめております。
00:27:10	83 ページが対象ケースをまとめたものになりまして、
00:27:14	組み合わせ評価やったケースの最大ケースというものが、
00:27:17	この右三つの青字で書いてるものになりましてこれは断層パターン 7 のケースは追加解析結果よりえられたものになります。
00:27:26	これをに対して最大ケースがどういうメカニズムでなってるかっていうところを確認しております。
00:27:32	そちらが 84 ページでまとめておりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:38	検討対象波源の断層パターン7についてまとめていきますと、防潮で前面の最大になるところは取水口付近になりまして、その水位上昇メカニズムがは形を見ていくと3放射性一、二号取水と同じと。
00:27:51	また参考という位置付けで、前段のページですと、健全地形モデルは断層パターン6が最大でしたので、健全地形モデルについても同様に参考扱いというところで断層パターン7で整理したところ同じようなメカニズム、
00:28:07	というところを確認しております。
00:28:09	85ページで、じゃあその健全地形の断層パターン6課題、妥当性あるのかっていうところを参考扱いで整理したのになっております。
00:28:18	説明してる内容については前回と同様になります。
00:28:23	また、86ページ以降の貯留堰下回る時間に関する検討の位置付けというところで、
00:28:33	具体的な例で言いますと90ページのまとめのところ、
00:28:42	こちら基準津波の審査というところを踏まえまして右側のポンプ位置におけるSEの評価というところについては、令和4年の5月27日に説明したところで、
00:28:53	それに対する耐津波設計方針における説明というところは特にはないかと思しますので、そこーという形で、今後説明予定と書いていたんですけどここバーにしたと。
00:29:04	いうところが大きな変更になっております。以上です。
00:29:12	はい、説明ありがとうございました。資料の内容確認に入りたいと思います。
00:29:23	ですね。
00:29:26	ちょっといろいろあるんですけどもまずなんか概要版をせっかく作っていただいているので概要の
00:29:33	と書いてるよ。
00:29:35	そうだ。
00:29:37	ちょっとその前に全体の話、名倉調整官お願いします。
00:29:47	規制庁の名倉です。
00:29:50	この資料って、
00:29:52	誰が最終的に見て、
00:29:55	判断してます。
00:29:59	資料。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:00	この構成とか説明内容とかって、
00:30:05	いや、いや、ちょっとそこだけちょっと教えてもらいます。
00:30:12	当然最終的にこの資料にゴーサインを出した人はこの資料で説明できるはずですよ。
00:30:21	はい。北海道電力の松村です。
00:30:26	社内的には
00:30:28	我々のところで確認をした後社内的には役員層まで説明したものですね、今回ご提出させていただいてございます。
00:30:42	規制庁の名倉です。
00:30:43	この資料をです、最初から素直に読んでいくと、
00:30:49	2ページ、これ全体のシナリオかなと思ったんですけど、2ページ3ページ。
00:30:57	これが後に繋がっていかないんですね。
00:31:01	何でそんなこと言ってるかっていうと、例えば6ページ7ページとかって、
00:31:05	指摘事項に対して回答方針って書いてますよね。
00:31:11	回答方針一つ一つ見ていくと。
00:31:14	実は脈絡のないことが書いてあって繋がらないんですよ。例えば、33ページ、33番、6ページの33番の上の回答方針の紙。
00:31:23	あのところで書いてあるのは考えていたって書いていて、そのあと何も接続詞もなく、選定するって書いてあって意味がわからない。
00:31:32	それから等、ここに回答方針って書いてあって指摘事項に対して回答内容はどこにあるんですか。
00:31:38	回答方針書いてあって回答内容どこにも書いてないから。
00:31:43	要は言いたいことは、どこを見たら、
00:31:45	指摘事項に対して回答が明確に説明されているんですか。
00:31:52	担当はどう説明してるかっていうとただ単に修正内容を説明してるだけなのかもしれないけれども、資料の内容はこうなりましたって結果を説明してる。
00:32:03	でも、指摘事項に対しての回答は説明してないんですね。
00:32:08	方針はここに書いてあるんだけど、
00:32:11	これに対しての説明って、
00:32:13	どう、どこを見ればいいのか、例えば、
00:32:17	33の水位上昇側の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:20	二つ、三つあるうちの二つ。
00:32:26	波源を特定する。
00:32:29	影響を考慮して検討するってなっていて、少なくとも上の方は波源特定するわけですよね、特定して示すって。
00:32:36	これどこに示している。
00:32:40	どこにも書いてないですよね。どこに示してるか。
00:32:43	だから後ろを読んで自分たちで適宜拾ってください。
00:32:47	ていう資料になっちゃってるんですよ。
00:32:49	そこを拾いに行ったときに見たときに、
00:32:52	おそらく 1089 ページぐらいなのかなあとって見てたんですけど、
00:32:59	このところもう以前からちょっと指摘はしていたんですけども、
00:33:03	概略パラメータスタディ。
00:33:07	対象ケースの選定、概略パラメータスタディ、
00:33:11	それから詳細パラメータスタディってあって、
00:33:14	これが実際の
00:33:17	移送。
00:33:19	をいじるところとしての位置関係の話と、それから振幅のほうの影響のところで、
00:33:26	多分、
00:33:27	おそらく空断層のパターン、主に断層パターンを見ていく中で、
00:33:32	高さ方向も大きいパターンを抽出してるから、
00:33:36	だから重なり合う時間体の断層パターン。
00:33:40	ていうものはあえて何か特定してないように見えるんだけど、
00:33:44	これも幅広に特定した上で、
00:33:49	多分影響も含めて、そのあとの詳細パラメータスタディの対象とするような断層、
00:33:56	パラパターンを絞り込んでるわけですよね。その途中でこれ多分拾って示さないといけない。
00:34:02	ですけど、これがどこを見、どうどう特定してるのかってのが、
00:34:07	実はこれ、
00:34:08	読んで勝手に解釈してください。
00:34:10	て言われちゃってるので私たち、これはどうしようか。
00:34:16	指摘事項に対しての回答方針書いてあるけど、
00:34:19	ここに、どこを見ればその結果が書いてあるのかっていうのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:34:24	ちょっとわからないなあ。
00:34:28	確かに結果はワンスルー示してるんだけど、
00:34:32	こちら辺がちょっと、すみません、見た限りでは、
00:34:35	コメント回答としての資料構成として、
00:34:39	ちゃんとリンクが張られてないので、申し訳ないけどこれ読むのにすごく莫大な時間が必要になっていて、
00:34:47	コメント回答として、
00:34:50	どうやって説明すんの。
00:34:52	今、思っちゃってるというのがすみません、これが一つの大きな所感です。
00:34:57	それから前回ちょっと私お願いしたんですけど、
00:35:03	以前説明してもらった、例えば
00:35:08	令和4年9月の1073回会合で逆転現象が発生しましたって、
00:35:15	て言った時の最初の検討結果ありますよね。
00:35:18	あの時と比較すると、おそらくほとんど日波源が、
00:35:24	パターン7。
00:35:26	南から南へ20キロから30キロ。
00:35:31	深さ5キロが3キロ、
00:35:33	そこら辺にもすべて特定されちゃったんですよ、波源が。
00:35:37	すみませんそういうふうな、うん。
00:35:40	波源がもう完全に特定をされちゃいましたっていう差分の結果、
00:35:46	要は比較がないんですね。
00:35:50	具体的に言ってしまうと21ページ等、
00:35:54	後ろの方の、
00:35:58	222ページ。
00:36:01	こちら辺をこうやってめくってみないと比較できなくて、
00:36:05	いや今回重要なのは、
00:36:08	もう開き直って説明するしかないんですけど。
00:36:11	今までの説明では、結局説明できなくて、
00:36:15	論理的に、重なり合う時間体に入ってくるような断層パターンと、
00:36:21	あと、高さ方向に影響があるような、パターンと断層パラメーターを特定し直しました。
00:36:30	その結果としてロジカルにそういうことやったら、実は南出に、南へ20キロ30キロってやってなかったやつが実は影響を光ったんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:43	7の、実は詳細パラメータスタディやっていなかったやつが影響が大きくて、それに特定でほとんどされちゃいましたってのは今回の期間ですねということは、
00:36:54	ちゃんと結果を、差分を示した上で、
00:36:59	変わりましたドラスチックに、パターンとかパラメータ変わっちゃったし、それから後、1メートルから1.5メートル、各評価項目の高さ方向の値については、
00:37:12	厳しくなりました。
00:37:15	ていう、差分をちゃんと見せた上で
00:37:18	要は、原因というか、そこは今回、ロジカルに検討し直したので、もう変わっちゃいましたよっていう説明を多分しないといけないので、
00:37:29	そういった
00:37:31	これまでの辺、結果からの大きな変更が今回あったので、その差分を示した上でなんでそうなったのかっていうことを、今回の方法論とともに、
00:37:41	多分説明しないといけないのかなとそこがちょっと、
00:37:45	読めないなあと思ったのでちょっとこれが2点ですけど、少なくとも前者の指摘事項に対する回答を、
00:37:55	方針でもいいんだけど、回答内容がどこにどう書いてあるのかっていうところは関連づけをちょっとして欲しい。そうしないと、会合これ、どう説明しようが、
00:38:07	資料を見たときに、コメント回答の手をなしていないように見えるのでここだけはちょっと、
00:38:13	速やかに改善して欲しいなというのが1点と、
00:38:16	多分そういった形で、内容的にはある程度、
00:38:22	やってることそのものについては、ある程度理解できるんだけど、その妥当性を確認するためにはやっぱりもうちょっと整理が必要かなっていうのが今の状況ですね。
00:38:34	整理が必要ってのは方針方法結果。
00:38:38	それがちゃんと理路整然と、
00:38:40	ここに書いてあるかどうか。
00:38:43	取りまとめ資料のイメージっていうのは補正イメージでもあるんだけど、
00:38:48	あんまり経緯にこだわってないんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:52	だからそういうふうな体裁で整理しないと、おそらく今までの経緯にこだわりすぎると、いや、若干説明とか必要だと思うんだけど、
00:39:02	そこんところがちょっとね、
00:39:05	今の内容だと。
00:39:07	申請のイメージをちゃんと持って、
00:39:09	取りまとめ資料としての構成とか内容を、
00:39:16	作ろうとしていますか。
00:39:18	というところですね。
00:39:20	そこのところがおそらくちょっと課題として出てくるのかな。
00:39:24	本当にやってることの、波源の選定の妥当性を確認しようとしたらもうちょっと中身を、方針方法結果、
00:39:34	というものに関して、もっと論理的に整理をちゃんとしてくれないと、妥当性が確認
00:39:41	しにくいな。
00:39:43	というのが今のすいません正直な状況ですね。
00:39:47	やってることは多分、ある程度網羅できているんだけどその
00:39:52	網羅してこれでいいですよっていう確認をする上で、
00:39:57	ちょっと、
00:39:58	資料見ても、わかりにくいなっていうのが今の現状ですね。
00:40:04	そういった状況でももう、結果とカーやってることは、会合でも明らかにしないといけないタイミングになってきているので、いずれにしてもあるタイミングでもう会合かけるんですけど、
00:40:17	そこまでに少し体裁を整えていただきたい。
00:40:20	そのために今日ちょっとわかんないことを、担当がいろいろ聞くので、そこそこのわからないということについては読みにくいという逆にそういうことを表しているの、
00:40:30	今回、事実確認としていろいろ、うちの担当の方から質問はしてき出しますけど、
00:40:37	そこら辺については、そういったところについては、
00:40:41	わかりにくいことの、
00:40:47	わかりにくいということだと思うので、そこはちょっと反映を可能な範囲でしていただけたらなと思います。
00:40:54	はい。
00:40:58	北海道電力の松村です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:02	今名倉さんからございました。
00:41:06	1点目のところ、
00:41:08	に関しまして、我々の
00:41:13	なんていうんでしょうかね、ちょっと確認等々の不足、申し訳ございません
00:41:17	趣旨は理解しました社内では一応やってきてるつもりではあったんですけどもまだわかりやすさの観点で、まだ不足しておると。
00:41:28	それから方針、指摘事項に対する方針それから
00:41:32	結果のあたりをしっかりとリンクさせて、資料作りさせていただきたいと思います。申し訳ございません。それから2点目の、
00:41:41	今回の波源の7に特定できた網羅的な検討をしてきたことに関しても、今までのとの差分について、明確に資料化させていただきたいと思います。
00:41:52	よろしく願いいたします。以上です。
00:42:15	谷です。えっとですね、ちょっとさっきの本当に社内でチェックしてんですかっていうので気になってるところとして、
00:42:22	何かねえ。
00:42:24	章立てがよくわかんない256ページでね。
00:42:33	これあと内容は後で言いますが、こういうのをどうしてこうおかしい、おかしく思わないのかなって思う話なんですけど、概略パラメータスタディの検討方針というのが156ページである。
00:42:44	次概略パラメータスタディの検討結果、括弧概要がある。
00:42:50	次見ると参考となるんですよ。
00:42:53	で、結果の概要がここに来てて、何で次参考になるのかなと。3項がずっとこうあるんですよ。
00:43:01	で、こういう章立てで、
00:43:05	この参考って何ですかっていうのもよくわかんないし、
00:43:08	そのあと268ページで詳細パラメータスタディの検討対象ケースの選定と、
00:43:15	結局概略パラメータスタディは概要しか述べてなくて他は参考なんですかっていう、何かこうパッと見てもおかしいな作り方をしているっていうようなところとかですねよく社内です、
00:43:30	こういうのをチェックしていただきたいんですけども、
00:43:33	何かおかしいと思いませんか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:43:51	北海道電力の青木です。156 ページで概略パラメータスタディの検討方針。
00:43:57	157 ページで検討結果をまとめた構成にしております。それ以降の 158 ページ以降については、当該ラックパラメータスタディってところのこの 1、
00:44:08	結果については、アトピー重なる範囲がどうかってところはもう前段の検討結果でも見えているところになりますのでこの 8K による確認というところは参考の位置付け、
00:44:19	というふうに考えておりましたので、こういった構成としておりました。ちょっとわかりやすさの観点で、社内で検討したいと考えてます。以上です。
00:44:31	谷です。概要の結果はこれは検討結果はもうわかってた。
00:44:38	ということですかそれは、奥寺。
00:44:41	データシートの扱いかなという。
00:44:45	もう少し、
00:44:47	概要、検討結果概要というところと、仕分けして示していると、そういうような位置付けで考えてました。
00:44:57	157 のデータシートみたいな感じで考えてます。
00:45:02	これじゃあれですか、結果の概要じゃなくて、概要、結果なんですかこれ。
00:45:08	概要ってあるからおかしく見えるっていうだけ。それだったら私もちょっとい過ぎてるのかもしれないですけど、北海道電力奥寺沢野。
00:45:17	58 含めて結果です。結果をまとめたものが 50、157 となります。
00:45:26	以上です。
00:45:28	わかりました。わかりましたというか、ちょっとねこの辺の内容は後でまた確認しますがあの資料よく見て何かぱっと見ておかしいようなものはですねどんどんどんどん直してもらったかなと思います。
00:45:40	でですねちょっと、
00:45:43	この最初の概要版を付けてくれてるのでこれーで話を進めていきたいんですけれども、
00:45:53	2 ページ 3 ページでこれ書いてるんですけども、こんな何だかこうやってることをさっき調整官も言いましたけど、何か何だかやってることを何か、
00:46:03	うまくこう説明できてないんじゃないのかなっていう思ってた、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:08	例えば丸二つ目の丸なんですけれども、以下の検討を実施したって矢羽根の一つ目とか、
00:46:16	こんな二つ目とかですね、何を言いて言いたいのかがよくわからないんですよね。ピークは重なる可能性のある地震に伴う津波について、
00:46:28	検討、網羅的に検討。
00:46:33	で、
00:46:34	二つ目の矢羽根は、
00:46:39	市以外の市以外のってというのがこれ、
00:46:43	波源位置の話ですね禿げに関する市以外の、
00:46:48	市以外の諸元。
00:46:51	について、
00:46:53	網羅的に変動を考慮し、
00:46:56	影響程度を把握、
00:46:59	1以外の波源に関する諸元についてって何か日本語。
00:47:05	僕はすんなり入ってこなくて、
00:47:08	せ、
00:47:09	あれですよ、これやったことって、そうそう影響程度把握ってその影響程度把握したのが結果なんですかね、そそうじゃなかったんじゃないかなと思う。
00:47:20	で、何か。
00:47:22	簡単に言うと、
00:47:25	ちょっと前回の会合では網羅的にね、波源が押す。
00:47:30	最大になるようなものが網羅的に説明できていなかったことに対して、北海道電力としてはピークが重なる波源位置をちゃんと特定したんだよと。
00:47:39	というのが一番最初ありますよね。
00:47:41	何かこの文章、そうは見えないんですけれども、特定しました。
00:47:45	で、その特定した中で一番、
00:47:49	大きくなる波源を選定してそれをパラメータスタディをすると、で、詳細パラスタをすると。
00:47:55	で、詳細パラスタの中で、
00:47:59	他のパラメーターで影響が大きなものを、
00:48:03	ちゃんと出して、最大となるものを選ぶんですよってという話なんですけれども、何かで多分この矢羽根三つを見てもね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:12	やってることとあんまりこうピンとこないよってということで、
00:48:16	何かできたら伝わるような文章に変えたらいいんじゃないのかなと思ってます。
00:48:23	何か二つ目、三つ目四つめて、
00:48:30	何か三つ目の○もねよくわかんないですよ
00:48:34	大きくなる波源を選定した。
00:48:40	組み合わせ評価の結果が大きくなる。
00:48:43	波源を設定した。
00:48:45	で、
00:48:46	当初はどっかこんな言いますかね当初は、地震に伴う津波の最大となる。
00:48:53	行政評価を実施している。
00:48:58	これいつが投書なのかとかですね何かよく分かんなくて何か必要ないような説明も省いたらいいのにな。これ、すいません規制庁の名倉です。
00:49:09	これさっき私ちょっと言いかけて言ってなかったんだけど、
00:49:13	6 ページのところで、CDP ともなってるよってって言ってましたよね。33 ページの一番上の四角の一つ目の黒丸、白丸。
00:49:22	このことがここにいきなりポッと出てくるんだけど、ストーリーとしては、泊発電所の津波の特徴はこうですよ。
00:49:31	といったときに、
00:49:32	一つ目の丸と二つ目のマルの間に入るのか二つ目の丸の一番上に来るのか。
00:49:39	当初はこうしてたんだけどどう。
00:49:43	結局これで駄目だっていうことがわかったってことなんだけどこれをあえて今後項目挙げて言うべき話なのかっていうのはちょっとあるんだけど、
00:49:51	そういう意味で、
00:49:54	うん。
00:49:55	この三つ目の、
00:49:56	矢羽根の丸印の矢羽根については私もちょっと、
00:50:00	何でこれここに入ってくるのかなってのはちょっと違和感を感じましたけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:05	そういう意味でちょっと、審査の経緯とか説明事項っていうのは、ちょっとこら辺まだ吟味が不足してるのかなと。
00:50:14	谷さんがちょっと今言ったんだけど二つ目の丸印の内容っていうのは本来は、本来やるべきなのは、
00:50:20	13 ページのフロー。
00:50:23	に対応さして説明すべきで、
00:50:25	そのあとの、具体的に書いてあるページを引用すべきではない。
00:50:29	と思います。ということは、検討の方法について述べるときはやっぱりフローとかで説明をすべき話であって、フローで説明できないような、
00:50:39	詳細な話はここでは馴染まないのかな。
00:50:43	ということでちょっと2 ページ。
00:50:45	こら辺はちょっと吟味が必要、あとすみません谷さんそこら辺していきたいなと思います。はい。
00:50:51	うん。で、何か、三つ目四つ目、五つ目のマルってこれ別に分けて、こんな。
00:50:58	書くようなことでもないかなとか思ってます。これ好みですけどね。
00:51:04	ちょっとね、あのさ、さらっとこんなのはサラッと、私なんて内容、
00:51:10	一応知ってる人間なので、その人間がこれがさらっと読めないっていうのはですね、ちょっとよろしくないと思いますよ。
00:51:17	3 ページなんだけども加工がもうねなんかね一つ目の丸と二つ目の丸が、
00:51:27	何か唐突感があるとね、この間までこうしてました今回こうしました。
00:51:34	これ何の説明なんですかという、
00:51:37	ところがあって、
00:51:39	何かこうこうこうだからこうしましたっていうような説明である。
00:51:44	できなんだけどそれがあれか、非整合図りっていうことなんですか。
00:51:49	今回整合を図り、
00:51:52	だから一つ目の丸は、
00:51:54	説明していたんだけど耐津波設計方針との整合が図れていなかったっていうことを言いたいってことか。
00:52:02	何となくすみません早とちりしててこの辺を。
00:52:07	読み飛ばしてたかもしれない
00:52:10	既設の名倉です。1 個だけ取ってるでしょ。
00:52:14	その2 ページ3 ページのこの水位上昇が下降側。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:17	についてもここに書いてあること。
00:52:19	実は何でこうしたのか。
00:52:22	なんで今回こういう方針方法でやったのかっていう理由がまず一つ目の。
00:52:28	0に入る。
00:52:31	それを変えたときの方針方法っていうのは何かっていうのが二つ目の丸に入って、
00:52:37	三つ目の丸では、
00:52:39	その検討結果としてどうなったのか。
00:52:42	過去に示した結果に対してどうなったのか。
00:52:45	ていうことを三つ目の四角で言う、四つ目で、それに対して考察を加えて、
00:52:53	言い切ると。
00:52:54	結論として、
00:52:56	というところが、おそらくここ構成として、4段階の構成として必要で、
00:53:03	それも上昇が下降側で、いかに
00:53:06	そこのところをわかりやすくするのか。
00:53:09	ていうのを多分検討しないといけなくて、
00:53:12	これはおそらく説明する。
00:53:15	担当者と、あと、
00:53:19	この結果を幹部とかに報告する上の人間。
00:53:23	とか、ここんところは、
00:53:25	説明する内容としては一致するわけであって、だから最初に聞いたんです、これは誰が。
00:53:31	最終的な判断したんですか。
00:53:34	ここのところのシナリオが最も重要で、
00:53:37	これがちゃんとできてれば、その後ろの資料のできが悪かったら、やってちゃんとやってくださいねってだけで済むんだけど、この一つ目の2、2ページ3ページのところ、
00:53:48	これがやっぱりしっかりしてないと。
00:53:52	非常に恐ろしい結果になるかなという気はちょっとしますんでこれちょっと含めていただきたいなと思います。すみません谷さん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:05	あとね、何 D、D、もうすいませんね 1 ページずついきますけど 6 ページ 7 ページとかで、
00:54:14	回答方針はこうしますよってちょっと中身については、根井
00:54:20	さっき言ったような行間が抜けてたりっていうのあるんですけども、僕気になったのはこの下に検討結果って書いて書いてくれているんですけども、
00:54:28	この検討結果って、これが本当の 2、検討結果なんですかっていうのを、これが書くべきことなんですかっていうのが、
00:54:37	ちょっとよくわからなくて、
00:54:39	要は、よりわからないのは 7 ページなんですけれども、
00:54:45	お礼
00:54:47	7 ページで、
00:54:50	組み合わせ後の水位下降側の影響動きは元である断層パターン 7 を選定した。
00:54:56	ていうのが、
00:54:57	検討結果なんですかそのパターン 7 を選定した点なんだろうなって。
00:55:03	私はこれを見てて、
00:55:06	何のこっちゃって思ったんですよね。
00:55:13	断層パターン。
00:55:15	何だった、これまで、
00:55:17	6-D の何とかの何とかとか言ってただけど、
00:55:21	それがパターン 7 を選定したのか結果なのかなっていうのを何か、
00:55:26	ははてなつきましたと。で、6 ページは、
00:55:31	書いてることはね、断層パターン、断層パラメーターの変動を考慮し、
00:55:41	た結果っていうのが、
00:55:43	何か、
00:55:45	断層パターンの変動っていうのが何なのかなっていうのがよくわかんなかったんですけど、
00:55:49	追加解析の結果、断層パターンなの、
00:55:55	アスペリティ位置の変動を考慮したことにより、
00:55:59	水が変わったよって言うんですけど、これってどこの説明で読んだらいいんです断層パターン等のアスペリティ位置の返答を考慮したから大きくなったんだよっていうのは、
00:56:12	結果どっかに書いてるんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:56:17	当北海道電力の青木ですと最終的な結果っていうところが 198 ページのところで、今の記載ぶりに該当するところをまとめた資料。
00:56:28	追加しております。
00:56:31	ちょっとその前段の整理というところで、196 ページが、今回の最大ケース、197 ページが、前回の令和 5 年 3 月 24 日の会合における最大ケース。
00:56:44	これを見ていくと、断層パターン 6。
00:56:48	が多かったのが 7 に入れ替わったと。その理由を分析したものが 198 ページで、
00:56:54	左側が、
00:56:57	前回における最大ケース断層パターン 7 のアスペリティ全員で右側が D 南 20 にした場合に、この第 2 はピークが大きくなって水が大きくなったというところをまとめたところになります。
00:57:10	以上とさせていただきます。
00:57:16	谷です。これは結構、
00:57:19	言いたい事わかりまして
00:57:22	他は変わってないのにこの d のプラス、南へ 20 キロっていうのが、
00:57:27	なったときに変わったんだということですね。
00:57:35	で、
00:57:36	これが何、何だっけ。
00:57:38	6 ページの、
00:57:40	検討結果の
00:57:44	もう何か重要な部分がこういうところにポンて入ってくる。
00:57:48	てことですか。最大ケースが更新された理由。
00:57:53	そこちょっと事実関係として、
00:57:56	確認したいんですけど。
00:57:59	南へ 20 キロ、南へ 30 キロっていうのが、すみません 196197 の見開きだと。
00:58:07	以前との差分として、
00:58:09	アスペリティ位置が D をいって言うてるものに対してほとんどが D 南へ 20 から 30 っていうパターン。
00:58:18	が一支配的になってきてるんですけど、
00:58:22	これは以前の平良令和 5 年の 3 月 24 日までの検討においては、
00:58:29	D 南へ 20 キロ 30 キロっていうものに関しては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:58:33	これは特に検討は、パラメータスタディとして、
00:58:38	範囲としてみて検討していなかった。
00:58:42	ていうことを、
00:58:44	ですね。
00:58:47	北海道電力奥寺です。今までもフローとしては 10 キロずつ、
00:58:54	検討するっていう、
00:58:56	地震津波の検討の中ではあったんですけども、前段の、その上流側の ステップで最大になってるものを対象に汚染を行ってた結果、
00:59:07	2030 っていうのが、そのケースに、
00:59:10	最大値になるケースに関しては、
00:59:12	気に落とされちゃっているところがあって、結果して出てきてない Te が残ってるっていうことで、
00:59:18	ちょっとアプローチが違ってきているので、
00:59:22	今出てきているというところですよ。
00:59:24	瀬尾名倉です。そこが多分説明のポイントになると思うので、あと単独 波源としての最大を生起するような、一つ目二つ目のピーク。
00:59:36	ていうものに関してはデイリーで抽出できてたんだと。
00:59:41	ただし、組み合わせを考慮すると、
00:59:43	位相特性のずれによって、市によって石とか、パラメータの断層パター ンとアスペリティの位置によって、到達時間に若干のずれが生じて、
00:59:56	それで重なり合うタイミングにぴったり合っていれば、必ずしも単独と して大きくないものであったとしても、
01:00:04	組み合わせると大きくなる。
01:00:06	そこんところは今回組み合わせに特化して組み合わせを念頭にした波源 のパターン等を、アスペリティ位置の選定をちゃんとやったから、これ が出てきた。
01:00:19	てっていうことですね、ということはやっぱりこの 19611097 のコント ラストと、
01:00:26	これの差分をしっかりと説明することが、今回、抜けがあってこんなミス をしたというから抜けたんじゃないかと、
01:00:34	やっぱり検討し直したから出てきた。
01:00:37	ここのところをちゃんと説明するのが非常に重要かなっていうのはちょ っと思いました。
01:00:42	すいませんと事実確認。すいません。可児さん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:00:48	点だけ言わしていただくというのを、
01:00:52	6 ページ 7 ページの検討結果っていうのはもしかしたら、その前の 2 ページ 3 ページで言うところのさっき私が言った三つ目の、
01:01:00	結果がここに入ってきてそれに対しての考察もしっかり書くっていう意味では、この 6 ページ 7 ページの検討結果っていうことが何なのかっていうのは、
01:01:12	ちょっと明確になると思うので、こういうふうには検討結果って書くのであれば、
01:01:17	何を書くのかっていうのをちょっと、ちゃんと特定をして、書いていただけたらなと思います。以上です。
01:01:29	他についでに 198 ページとかの辺りの、
01:01:34	話を聞きたいんですけども。
01:01:38	これってあれですよ例としてってこうやってあげましたと。
01:01:42	出た多分、確かに北海道電力言う通りですねこの Asperity の D を南へ 20 キロとか、こういったのがもちろん聞いてるんだらうなっていうのを、私たちも想像はしてるんですけども、
01:01:57	JX これをもし前面に出すんだったらですねもうちょっと丁寧にですね、これは確かにこれを並べてこの例ではね、ここ以外変わってないからここで変わったんだという、
01:02:08	これはわかります。でも他の派遣とかって、
01:02:12	他の
01:02:14	ことも変わってはいないんですか、とかいうのがですね。
01:02:17	多分見てわかんなくて、
01:02:20	この話をするんだったらちょっと網羅的になんて、こういうパラメータはほとんど影響ないんだこういうパラメータほとんど影響ないんだとやっぱりこれが一番影響あるんだとかいうのが、
01:02:31	何か見えてくるような整理が要るんじゃないかなと思いましたけれどもそれは
01:02:37	今どうこうしてくださいっていう話じゃないんですけど。
01:02:41	わかりますよね 1 個だけこれだけをぱっと見せられても何か。
01:02:45	説明としてはどうなんですかねっていう話です。
01:02:52	当北海道電力の青木です。答礼大事なところなんですけど、例の 1 パターンだけで示してるっていうところが、ちょっと大事なところなんだからもう少ししっかりしなさいというようなふうには受けとめてますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:04	その辺りちょっと資料か考えたいと思っております。以上です。
01:03:09	はい、谷です。
01:03:12	あとはですねえ。
01:03:21	ちょっと10ページ11ページとかこの辺はどどこまでどう説明するかっていうのを考えてもらったらいんですけど、何か気になったの13ページで、
01:03:33	何かこのフローが、やっぱりこうやってることと言葉か何か、
01:03:39	一致しないというのが、
01:03:41	ちょっと読んでて悩みどころなんですけれども、私、よくわかんなくなってくるんですけれども、これねまずね、既往の解析結果を用いた分析よりとこういうので始まるんですけど、で、このフローも左側、既往の解析。
01:03:56	結果を用いた分析ってこれ今となってはこれ何のことですかっていうところなんですけど今資料を見てこれが企業の、
01:04:06	解析結果を用いた分析なんですよっていうのは、何かわかるんですけど、いやそれともこれこれ、これこそが既往の解析。
01:04:15	結構用いた分析っていう意味なんですか。
01:04:20	こちらの既往の解析結果を用いた分析っていうところの記載の伊藤というところは、今回追加解析何ケースかやっておりますしてその追加解析からえられたものっていうものではなくて、
01:04:33	今ある結果から用いて分析した結果だということのをわかるような考えでこの既往の解析結果を用いた分析というふうに表現しております。
01:04:44	とその分析自体は前回からあったのかというと、分析自体は今回は改めてやったものの位置付けになってます。
01:04:52	以上です。
01:04:57	企業の解析結果っていうのは、
01:05:02	地震単独の解析結果を、
01:05:07	分析をしましたっていうことなんですかね、地震単独のときにいろいろパラスターとかをやったものを使っていますっていう意味ですかっているんですか。
01:05:18	北海道電力の青木です。その通りの認識で地震津波のパラメータスタディでやったケースを用いて整理しているところになっております。
01:05:29	以上です。はい。
01:05:31	ちょっとじゃあれかな。企業っていう言葉が、何か、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:05:36	わかりにくくしてるのか、私これ、例えばね今回のこういう本日の説明概要だけを、
01:05:45	13 ページでフローを作っていたらいいんですけど、何か既往の解析結果がどうのこうのとか言うんだったら、当然、
01:05:54	これまでの、
01:05:55	全体の、
01:05:58	検討結果のフローみたいな。
01:06:00	その中で今回こういう位置付けなんですよっていう話から始まってしかるべきかなど。
01:06:06	思ってた、確かに今回これ、
01:06:10	ねコメント回答といった部分では、こういった検討しましたよっていう説明から始まるのは、否定はしないですけど、もっとね多分。
01:06:19	そもそも、そもそもフローがいて、
01:06:24	これ最初名倉調整官に言いましたけど何か、
01:06:29	多分通常の組み合わせでこうやったときに、課題というか、
01:06:36	入れ替わりが出てきたよ。それに対して、こういう課題があったよってそれは上昇側ではこうだったよ加古川ではこうだったよ。
01:06:44	で、それに対して、組み合わせ時間に考慮した検討を今回やってますよ。
01:06:50	それに対して最後何か検証みたいなのがいるのかもしれないですけどその中の、何か一部のことがここにパーンと入ってるっていうようなことかと思うんですけども、何か全体がわかるようなですね、これ最終的には、
01:07:03	全体の検討がわかるような、ちょっと資料にさせていただけたらなと思います。
01:07:10	規制庁名倉です。ちょっとだけ補足すると、
01:07:15	後から、
01:07:17	資料を取りまとめるときに振り返ると、
01:07:19	同じ過去のことなので、
01:07:22	それが過去のずっと前のことなのか、それとも資金の確保なのかっていうことは全く関係なくて、
01:07:29	それより以前にあった検討をすべてトータルに見たときにどういう説明をするのか、そういう、
01:07:37	視点で、多分補正申請はするので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:07:40	それに、それを踏まえた取りまとめ資料の仕方、取りまとめの仕方を考えてくださいと。
01:07:47	ただし今の段階ではコメント回答なので、必ずしもそれをすべて除外するということはしなくてもいいんだけど、
01:07:55	そういったつぎ足しの部分があるのであればそれが概要としてわかるような形の資料で説明しないと、
01:08:03	キーワードが、突然出てきて迷子になってしまうということが生じるので、注意してくださいねというのが、
01:08:11	言いたかったこと。
01:08:14	方です。
01:08:17	でですね。
01:08:19	谷です。
01:08:21	ねえ。12 ページにね、多分、いきなり組み合わせ時間範囲っていう言葉が出てくるんだけど、前なんかどっかで定義をしてたと思うんですけども、
01:08:33	これは多分これよりも前に定義があるんですよ。
01:08:37	13 ページのフローで入ってきている組み合わせ時間範囲において、
01:08:47	②ですね。
01:08:50	組み合わせ時間範囲において、第 1 は第 2 は、波源を特定しました。
01:09:04	③は根井②で設定した範囲を踏まえて、
01:09:12	水への影響が大きくなる移動量のケースを、
01:09:18	てなってるんですけど、踏まえ踏まえ、どうして。
01:09:23	どうして、範囲を踏まえて、
01:09:25	水位が大きくなる移動量の係数、
01:09:29	が選定されるのか。
01:09:32	わかります。踏まえだけでこうなんか片付けてるけど、何なんだろうなと思ってます。
01:09:39	これは
01:09:42	重なる位置の中で、最大になるものを選びましたその最大のさ、最大を選ぶやり方はこうですっていうような説明がないとですね。
01:09:51	何かいきなりこんな話でよくわからないと。左下に何か検討結果っていつて何か破線で書いてますけどこの件、検討結果って何の検討結果なんですかっていうのがよくわからない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:10:06	特に引っかかったのがね④逃れ、概略パラメータスタディっていう言葉がね、言葉がよくないのかもしれないですけどこれね。
01:10:14	概略パラメータスタディで話をしてるのは、東西方向位置と、
01:10:20	矩形くの字モデルのパラメータスタディを実施って書いてるんですけど。
01:10:25	こんな東西方向位置のパラメータスタディなんかやってないですよ。
01:10:30	て私は思うんですよ。
01:10:31	東西方向を何かずらしてパラメータスタディやりましたか。
01:10:36	やってないですよ。
01:10:38	ただ単にここを、③で選んだものの中から、詳細パラメータ日立に進むようなやつをやったん。
01:10:46	なんかは、何名に計算して選んだんですよっていうようなことなのかもしれないですけど、
01:10:51	何かやっぱり概略パラメータスタディの目的と、
01:10:55	そのあとに、その詳細パラメータスタディに進むときの、
01:10:59	この考えっていうのがね、何か資料見ててあんまりわからなくてそれまた後で言いますけれども、
01:11:05	ちょっとただ④で説明してることをこれ、いろんなところに出てくるんですけど、
01:11:11	これやってる古藤に合っていないよなんて、私は思ったんですけど。
01:11:15	これ合ってますかね東西方向1と。
01:11:19	矩形黒字のパラメータスタディを実施しました。
01:11:23	当北海道電力の青木ですと概略パラメータスタディっていうところでやってるところの話なんですけれども、東西方向役務地基準1っていうものは断層パターン5から8にあってそこから東西にずらしたケースを対象に、
01:11:39	当間箕君の時にパターンについて検討して、ピークの水位が大きくなるケースを選定しているというところが実際のところで、この用語っていうところでこれがパラメータスタディなのかっていうところは、
01:11:51	基準1から比べるとパラメータスタディというふうに考えておりましたので、ちょっとそのあたり、問いと伝わってないというところかと思いますがちょっと記載ぶりとか、言い方とか検討したいと考えております。以上です。
01:12:04	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:12:05	いやもうこれは多分一応パラスタしますって位置を動かす。
01:12:10	て思いまっすね、今までの。
01:12:14	いやだって市動かしたのも選んでるんでしょう。
01:12:18	そっからパラメータスタディなんかやってないでしょ。
01:12:31	規制庁の名倉です。そこら辺を正確に表すとしたら、
01:12:38	PEEK の重なり合い重なり合う可能性について、
01:12:45	可能性のある、そのモデルを推定した上で、かつなりあるかどうかの確認を、
01:12:51	解析的にやったっていうただ多分そういうことだと思うんですけどね。
01:12:55	うん。そこら辺を正確に書くのか、私はちょっと正確に書いた方が、
01:13:03	いいのかなという気はちょっとしましたけど。
01:13:08	井谷です。ちょっとこの辺確認ですね。
01:13:11	でねこの 13 ページ私なんかの文章いつもみたいになってるんですけど、最後の丸、なおなお書き以降なんですけど、多分この
01:13:21	書き方またこう誤解招くと思ってる、
01:13:26	断層パターン 1 から 4 については 4 から 5 から 8 を、
01:13:31	移動した位置にある同じ断層パターンの波源、
01:13:37	位置は、
01:13:39	5、
01:13:40	移動させた位置にある同じ断層パターンで断層パターンとこっちこれとこれ違う言葉を使ってるのに、何か言ってるのが、何か変な言葉になってて、多分これ移動した位置にある同じ傾斜方向、
01:13:53	傾斜角。
01:13:55	傾斜方向、
01:13:56	の波源であるってことですよね。断層パターン 5 から 8 を基準位置として、
01:14:03	東西方向、東西への移動を検討することで、
01:14:06	代表させるっていうと何か代表なんですかねっていう。
01:14:12	話で、いやただ単にこの名前をつけかえるっていうだけなので、評価可能っていうことを言ってるんですよという、何か代表させるっていうと何か何かまるで違うものを、
01:14:23	こっちで、
01:14:24	評価しておけばいいんだよっていうな話に聞こえるよと。
01:14:28	続いて 15 ページ 14 ページ 15 ページって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:14:33	温泉もなんか時間もだんだん、
01:14:37	これねなんか 14 ページが多分すごい誤解を招くんですよ、想定波源位置っていうのも 50 キロですっていうこう、
01:14:45	なんかすごく言ってるような感じがあって、言いたいのは 15 ページにあるんですけども、15 ページに書いてあることって何か、この 14 ページの模式図とかで、
01:14:55	模式図特にこの断面図ですね。
01:14:58	これ範囲できないんですかね。
01:15:00	これ何か 14 ページで書いてることが、余計邪魔になってね 15 ページが頭に入ってこないですよこれ。
01:15:11	で、ここで言ってるのは、ただ単に、
01:15:14	断層の評価ではこうやってますっていうだけの話かと思うので、
01:15:20	何かねえ。
01:15:22	断層評価の時に一体どうやってやりましたっていうのをこう、
01:15:26	書けばいいだけなんだろうなと思っていますけど、
01:15:33	ちょっとその辺おまかせしますね。
01:15:51	なんかね 15 ページのこの文章もね、
01:15:54	ちょっと考えてくださいね、この
01:16:01	15 ページの上の行しか、黄色囲みの、
01:16:05	文章、移動量については、
01:16:08	網羅できる位置に設定した。
01:16:11	移動量を 1 に設定した。
01:16:14	なお、
01:16:15	移動量が異なるためそれぞれ異なる。
01:16:23	なお、
01:16:24	モードできる移動量が異なる。
01:16:30	なんか 1 移動量とか、よくわからないなあと思ってますけどこれで正しいんですっていうんだったら別にいいです。
01:16:43	ですってねさっき言いました - 19 ページ 18 ページ 19 ページで、
01:16:49	何か資料見ててよくわかんないのが、概略パラメータスタディやりましたよっていうところまではいいんですけども、
01:16:55	この概略パラメータスタディをしたら、どういったケースが詳細パラメータスタディに行くって考えてるのか、その辺の何かルールというか方針っていうのが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:07	何かよくわからないんですよ。で、
01:17:11	これは左側の方に関しては、何か重なるものはもう、次に行きます。
01:17:18	東井戸のケースは、
01:17:21	重なれば、次に行きます。
01:17:23	西移動は、
01:17:31	何て言っても、
01:17:41	仲西井戸はね、西傾斜の断層パターン 77 が大きいから、詳細パラメータスタディの対象ケースとする。
01:17:52	ただし、加えて 8 も、水位が急増するから選定するとかね。
01:17:57	なんか、そもそものそもそものルールと何か、
01:18:02	選定のときに考えてることっていうのがね。
01:18:06	何かよくわかんないんですよ。
01:18:09	違うか僕これ違う、勘違いして、第 2 班の方が、
01:18:19	あれ
01:19:37	と北海道電力を、
01:19:47	これですこれです。
01:19:55	これちょっとね、156 ページから確認していきますけれども、
01:20:00	どう、どういうルールで、
01:20:03	波源を選定するんかっていうのが、
01:20:08	よくわからなくて、何かそもそもこの
01:20:13	157 ページで言うと、一番左のパターン 5 は、
01:20:20	概略パラメータスタディ結果で、矩形モデル区野地モデルともに組み合わせ、
01:20:25	時間内に来ピーク、ピークが入る。
01:20:29	で、選定していないっていうこと、ことがこう書いてないんですけども、
01:20:34	この下、下、
01:20:39	下の箱書きで、一応断層パターン 6 を踏まえ断層パターンを、
01:20:44	選定するってここで断層パターンを 555 どうしたのかっていうのをまず書いて欲しいんですけども、これはあれですよ、断層 6 パターン 6 よりも後は小さいからもう、
01:20:56	選定しないっていう話をしてんですよ。
01:20:59	続いて、
01:21:08	続いて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:21:10	七、八っていうのは、
01:21:15	別にここで急増するからどうのとかいう話と、
01:21:20	何かここでもあんまり書いてないんだけど、
01:21:25	ここの157って説明してるのと、19ページで説明してるのって、どう いう関係になるんですか。
01:21:50	北海道電力の青木ですと19ページと157ページの、特に断層パターン 七、八の考え方が資料として、同じ言い回しとか、考え方っていうふう に読み取れないっていうふうな、
01:22:03	考えだと思いますのでこの考え方、
01:22:06	同じ拾うという位置付けなので、統一した表現とか、
01:22:10	記載ぶりに検討したいと考えております。で考えているところについ ては、19ページの考え方っていうところが、
01:22:18	正しいほうかと考えております。以上です。
01:22:28	19ページの断層パターン8も水位が急増するから選定するっていうの が、
01:22:33	考え方。
01:22:36	当北海道電力の青木ですとように考えております。
01:22:43	なんかね、わかんないなあ。
01:22:47	どういうのを選定するのか、これ、まず東傾斜と西傾斜に分けて選定す るっていう考え方なのか、この19ページでよるとね。
01:22:57	そうなのか、いやそうじゃなくって別にこの157ページ見たらそんな分 けてるようには僕には見えなかったんですけども。
01:23:09	ただ単に、
01:23:12	パターン5だけオミットしたけれども、
01:23:19	他は残すんですよっていう説明257見えて、
01:23:25	一方これ西傾斜じゃなくって、石堂じゃなくて東井戸の場合は何か重な ったらもう選定するんですよって。
01:23:34	いう説明でしたよね。
01:23:36	重なってるものは選びますでしたよね。じゃなかったですかね。
01:23:40	何かこのね、概略パラスタから、
01:23:43	詳細パラスタに移るときの選び方っていうのは、
01:23:50	どういう考えなんですか。
01:24:41	社内で少し打ち合わせします。
01:24:53	なんかね、私は資料見てて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:55	ちょっと不安があるようなものは選んで次に選定してるっていうような印象を受けたんですけれども、
01:25:01	そこでどうどう表現するかを、
01:25:04	別ですけれども、どうしてこっちとこっちが違うんだろうどうしてこれが選ばれない理由はこうだったのに、これ、これは同じような理由なのに選ばれるんだらうとかですね。
01:25:15	その辺が何かうまく整理して欲しいんですよね。多分あの言葉には今できてないんだらうけど、きっと考えはあるはずなんです。その辺の考え方を、
01:25:25	ちゃんと整理して欲しいなど。
01:25:28	思いますで、じゃあね、どっちが大きいとかいう話を、
01:25:35	奥野 157 ページで、これ。
01:25:38	パターン 6 と。
01:25:40	パターン 5 はパターン 6 より小さいっていう、言うてますけど。
01:25:45	これどこどこ見たらそれがわかるんですか。
01:25:50	僕が定規を当てて、
01:25:53	何メーターだなんてみないとわかんないんですっけ。
01:26:29	当北海道電力の青木ですと 157 って、こちら検討結果一覧にしたものちょっと図が小さくなってるところ恐縮なんですけどもう少し大きくしたものが、
01:26:40	168 ページに掲載しております、
01:26:44	断層パターン 5 は、黄色の系列、断層パターン 6 が緑の系列というところでこの葉系見た上で、概ね大きいとか小さいとかっていうふうに判断しているところになります。
01:26:57	168 ページ。
01:27:20	なんかわかりましたけど、
01:27:22	多分、
01:27:25	値をね、出せるんだったら出してもらった方が、
01:27:29	こういう説明するときにはわかるかなと思います。
01:27:34	で、
01:27:38	ついでに言いますけどこの 156 ページの、
01:27:41	さっきの
01:27:44	一番上の囲みですけど企業の分析結果より選定した 8 ケース。
01:27:49	を対象に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:52	で、
01:27:53	何のこっちゃって思いません。
01:27:56	既往の分析結果って何ですか。
01:28:01	て思うんですよね。これさっきの
01:28:05	フローのところをよくわかりませんって私が言った企業の、
01:28:11	って何ですかっていう話だと思うんですけど。
01:28:18	何かこれ、多分、
01:28:20	機器、企業、
01:28:22	企業でも 8 ケースなんか、
01:28:24	選定しているような分析結果が、
01:28:27	あるような記載ですよこれ。
01:28:33	すいませんあんまり細かいこと言ってもあれなので、ちょっと。
01:28:41	さっき大分飛んでしまったんで、
01:28:49	あとね 24 ページからね川白の第 2 は移行のピーク、わあ、大丈夫なん ですかっていう話をするんだけど、
01:29:05	なんかね 24 ページのこの四角書き、一つ目の丸が、
01:29:11	一つ目のマルはね。
01:29:14	川白地すべりの 2 羽以降の後続幅 1% のピークと比べて水位が小さいの で大きくなる可能性はないと組み合わせで大きくなる可能性はない。
01:29:23	て言っておきながら、
01:29:25	二つ目の丸は、いやいやだけれどもね。
01:29:31	ていう、ここら辺、
01:29:33	僕から見たらこれ矛盾してるようなことを書いてるような気がして、
01:29:38	この辺のね、考え方をちゃんと整理して欲しいのと、第 2 は以降の後続 はって言ってるけど、
01:29:45	2 羽の、
01:29:47	第 2 はだけを
01:29:49	見てるんですよね。で、
01:29:51	第 3 は第 4 は若生高校で、もう考える必要ないんですよとか、最初にそ れがあるべきでなぜかという、川白の実日、
01:30:01	第
01:30:02	123448 って結構大きいんですよね。そこは、地震と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:30:08	重なるようなことがあるのかないのかとかそういう話もなんか合わせてしてもらいたいし、20、25 ページになるといきなりなんかパターン 6 と比べれば、
01:30:18	説明できるんですってなってるんですけども、
01:30:23	何かあんまりこう定量的に評価はここまでする必要があるのかどうかかっていうの、別ですけども。
01:30:30	ただパターン 6 と評価数
01:30:33	するっていう、
01:30:35	ちょっと、
01:30:36	しっかりとね、
01:30:39	ここまでやる必要あるのかなって思ったりすることまでやってるんだけど、その前提というか、なぜパターン 6 だけをこう見ておけばいいのかっていうようなですね。
01:30:51	そういう説明がこう抜けてるんですよ質す第 2 版のピークの水位が最大となる。
01:30:56	パターン 6 を対象に、
01:30:59	やればいいですとか言ってるけど、
01:31:11	何、何の中からパターン 6 なのかなとかですね。
01:31:16	何。
01:31:20	何、何でパターン 6 がここで出てくるんだっていうのが何かいまいちわからぬし、或いは、
01:31:29	位相とかはもう違うわけですよ。パターン。確かに第 2 は高いんだろうけど、
01:31:36	磯が間違ったらそれ重なる。タイミング変わったりするだろう C とかいうのを考えると、本当に 6 だけで、確認することで、十分説明できるのかっていうのが、
01:31:48	何かですね説明が飛んでて、
01:31:54	これ多分、
01:31:55	念のためしっかり確認したっていうような位置付けなんだろうと思うんですけどそれにしてもちょっと、
01:32:02	これは流れがよくわからないですよ。
01:32:05	何か付け足すようなことあれば聞きますけど、
01:32:31	北海道電力奥寺です。今、
01:32:34	事実確認を通り、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:32:37	もう一步川路かわしら。
01:32:41	一方、
01:32:46	医師、
01:32:47	地震の津波、
01:32:49	一派をお重ね合わせると、1%、2 はですね。
01:32:54	それで十分だと。
01:32:56	ているんですけども、
01:32:59	もう、
01:33:00	炭素パターン6に関して今最大出てるっていうところがわかっててもその天然のため、まさに年のための位置付けでやっているので、
01:33:11	もうそのため確認して大丈夫だったっていうようなところを、
01:33:16	我々的には丁寧に示したつもりで、そこがわかりづらいというのであれば、何か概要にもしかしたら、
01:33:23	ここまでがちゃがちゃ書くのがそごはないのかもしれないです。すいません。ちょっと今、
01:33:30	どうしようかっていうのが頭を整理できてないんですけども、念のためではあります。
01:33:34	谷です。
01:33:37	えっとね、第一波より第2はが大きくなるのが断層パターン6だけなのかとか、
01:33:44	だから断層パターン6をやったのかとか、
01:33:48	それはあれですよ、第一歩。
01:33:53	第1部。
01:33:55	大日本。
01:33:57	あ、違うか
01:33:58	何かねえ。
01:34:02	よくわからないですよ。6を見とけばいいんですよっていうのは、概念的に大きなものがどうなるかっていうのを説明してるっていうのはわかるんだけど、
01:34:12	それはねえ。
01:34:13	これをこれを確認することがどういう意味なのかっていうのをちょっと、
01:34:17	わかるようにしてくれたら、今の説明でも佐藤流れるのかもしれない。今はちょっとよくわかんない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:34:23	で、28 ページに行きますけれども、
01:34:30	根井なんかこれもフロー的なものを書いてるんですけども、
01:34:37	何でこんなフローになるのかっていうのが、
01:34:44	よくわからなくて、
01:34:47	対津波設計。
01:34:50	評価方針っていうのがあるから、
01:35:00	だから保守性を考慮した時間っていうのを新しくやりますよ。
01:35:06	ここの因果関係起こりました。
01:35:10	そのあとに保守性を考慮した時間を定義するって、
01:35:17	いうのがよくわからなくて、
01:35:21	評価方針を決めてね、でて定義した。
01:35:26	何かこれは、
01:35:28	定義もないのに方針。
01:35:30	おっき決めたんですか。
01:35:32	そのあとに、
01:35:36	よくもっとよくわかんないのが下降側の、
01:35:39	これをやるって決めた後に、
01:35:43	今までやってきた。
01:35:45	時間だとかパルスを考慮しない時間の位置付けを、
01:35:49	整理する。
01:35:53	では元の入れ替わりの確認。僕はここの何でこういう流れになるのが さっぱり
01:36:00	見てて、
01:36:02	わかりませんでした。
01:36:05	ここで僕ら説明して欲しいのは、
01:36:09	こういうところが課題になったからこういうやり方に変えたんだって いう話は、その経緯っていうのは多分大事なんですね。
01:36:18	その次に、どうやってこれを選定したかっていうのをちゃんと説明して もらわないと。
01:36:27	これあれかな。
01:36:28	どんなパラメータスタディでやっていくのかとか、
01:36:35	これ下手したら 1 から
01:36:38	なんて言うんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:36:40	これ、これってやってることってあれですよ、地震に伴う津波に戻ってやってること。
01:36:45	ですよ。
01:36:47	地震、地震、地震の津波組み合わせの中でやってるけれども、
01:36:52	そのやり方っていうのとかちゃんと説明しないと、
01:36:57	パラメータスタディをこうやってやる、或いはパラメータスタディをやったらその因子分析みたいなのをやるとか、そういうこともセットであったのかと思うんですけども、
01:37:08	それどこ見たら今わかるんです。
01:37:18	これね、前々回でもね言ってるんですね。
01:37:25	これどうやって選んだかは、どこを見たら、まずわかります。どう、どうやって、
01:37:33	保守性を考慮した時間の最大ケースが、
01:37:37	選ばれていたのか。
01:37:55	なんかブラックボックスでこれが出ましたって言うんだったらこれはちょっとさすがに。
01:38:14	当北海道電力の青木ですと、加古川の追加解析に該当するところっていうのが資料中のどこに書いてあるかっていうところについてお答えさせていただきます。
01:38:24	概要版とか本編資料の方では、細かい内容っていうところを記載すべきではないのかなというところで、資料化してないところになります。そこを、
01:38:36	バックデータに該当するところっていうふうにとらえておりますので補足説明資料を、
01:38:40	のところの、
01:38:42	衛藤 8 ポチの地震に伴う津波の津波解析結果データ集。
01:38:48	9 ポチ同一波動場なん津波解析結果データ集。
01:38:52	当時ポチのところのところも該当して、結果については整理しているところになりますと回答は以上とさせていただきます。
01:39:23	結果だけがあるってことなんですかね。
01:39:27	どうやってやるか。
01:39:29	てのではないんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:31	と北海道出村沖です。やり方についての定義だと思うんですけどそこについてはちょっと記載できてないところになります。流れについては94ページ以降の、ちょっと細かいところの説明になるので、
01:39:43	回答は控えさせていただきます。
01:40:01	ですね、もしそういう考えでやってるとしたらですねこれ審査する資料として、
01:40:08	足りていないと思いますよ。どうやってやったか、その評価のプロセスがこう見えてこないような資料で審査してくださいって言うてるんだとしたら、
01:40:18	それはちょっと、
01:40:22	違うかなというふうに思いますけれども、
01:40:28	どうですかね。その辺は、
01:40:58	ちゃんと続けますね。
01:41:03	藤。
01:41:07	根井、
01:41:08	なぜか29ページとかになってくると、なんかね今度は基準津波をどうするっていう話に急に始まるんですね。
01:41:18	これ多分今回の資料では、
01:41:22	影響の大きな波源をこう考えますとか、そういうところで終わるはずなのに、
01:41:28	いきなりこれ9、29ページからは基準津波に、
01:41:32	をどうしますっていう話が、
01:41:35	始まります。これが何か、
01:41:38	よくわからなくて、
01:41:41	あとね29ページ書いてますけれども、
01:41:45	水位下降量を参考値としますっていうのは、これは今回の変更じゃないから、
01:41:56	そっかそっか、左側が3、
01:42:01	3月か。
01:42:04	前回これも宗取水口の加工課が参考値になってたんですけど、これ。
01:42:35	うん。
01:42:37	と、ということ、これね、参考値にしましたとか前回書いてないと思うんですね。
01:42:44	ちょっとこの辺、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:42:47	正しく書いた方がいいですよとか正しく書いて、
01:42:51	書く必要ありますよっていうことをちょっとお伝えしときます。
01:43:07	すいません規制庁すべきですけど、
01:43:11	すいませんこれ、29 ページの左側、保全、さっき言った前回参考値って も前回多分こういう趣旨で参考にしますとは、おそらく前回の資料には 書いてなくて、
01:43:21	貯留堰を設置して設計するんで、あまり加工ルートというのは、それはで は選定しませんよというのは確かに前回の資料に書いてあって、
01:43:31	ただどういうふうここに書いたように安全側の評価となるとか。
01:43:35	参考するとするとかってというのは、どう参考にするのかもしたのかもわ かななかったんですけど。
01:43:41	今回が右側で、結局、
01:43:44	居留堰を下回る継続時間プラスを考慮しない時間、これ多分前のページ でいくとフローの下から2 番目、つい花崗岩を基準津波の選定方針です かねこの多分位置付けを整理すると言ってるので、
01:43:57	この次のページのここでは選定方針ではなくて評価方針とされているこ の29 ページが、
01:44:04	多分と対応して説明しているのだと、すみません、予想をしてですね。
01:44:11	そこも何か参考値と書いていて、
01:44:14	解析対象係争幅広に設定して波源選定を行うことで安全側の評価とする ため参考値としてっていうけど、
01:44:23	結局これが何か最後どのように、何か参考になったとか、これを加えた ことによって、どのように安全側の評価になるのかも、何か全く、
01:44:34	そこがよくわからなくて、
01:44:36	追加考慮の方は一旦切り分けておいて、結局、貯留堰を下回る継続のパ ルスを考慮しない時間で500%どうやっても、保守性を考慮した時間よ りも短くなることは、
01:44:48	多分定義上明らかなのに、
01:44:50	これを参考にしたのかなっていうのが、資料上も見えてこなかったとい うのが、
01:44:55	多分書いてないんでしょうけども、ないんで、これ多分わかりやすさ という以前だと思います。
01:45:00	上で、Suica コールと多分同じような扱いになってるんだけどこれも結 局 Suica 考慮って、どういうふう何か参考にしたのかも。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:45:09	わかんなくてこの保守性を考慮した時間、これが、
01:45:12	敷地に最も影響が大きいものですね波源を選んでいるっていうときに、 どう参考にしたのかが、ここどこにも書かれてないんでわからない。
01:45:21	すいません、書いてないので、ここに書いてありますという説明は結構 ですけど。
01:45:27	ここもね、何か急にここ2ページにプロット入ってきて、
01:45:31	前回の説明も、これこんな説明聞いたから今回もどこに書いてあるのか なっているのは、
01:45:36	補足しますけど。
01:45:42	はい。該当電力奥寺です。ちょっと、社内で打ち合わせします。
01:50:26	を、
01:50:29	ごめんなさいちょっと通信が良くなかったかな。はい。すいません029 ページのところで、これは参考値っていうふうに書いてあるんですけ ど、これ
01:50:40	加工ずつついてかの時間、この時間そのものが重要だと思ってやってる んですかそれとも何かしらその傾向、推定可能。
01:50:50	は形なり傾向なり、
01:50:52	この保守性を考慮した時間をしっかりと
01:50:55	評価するにあたって何かしら項は、ただ、
01:50:58	波源は形の傾向とか、
01:51:01	その実際に水位回復の傾向とかそういうものを知るためにやってるのか 単純にもうこの値ですよ。
01:51:07	値が重要。
01:51:09	あんなの前の後ろのページも出てきますけど、700、
01:51:12	何、何秒とか、そういうものが重要だっていう話なんですかね。
01:51:17	うん。
01:51:18	ちょっとここも、
01:51:20	これ何のため残してるのかっていうのは、
01:51:23	これは前回のヒアリング、
01:51:25	ここ見えてこないんで、ぱっと見ると、何か保守性を考慮した時間、こ の二つですね、パルスを考慮した貯留堰を下回る継続時間も包含するよ うな保守性を考慮した時間定義しているのに、
01:51:37	これが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:51:39	いつまで残ってくるんだ、例えばもしかしたら、地震による地震単独のところまではこういうものやっておいて、
01:51:46	ある程度傾向を掴んでおいて、組み合わせのときにはもういらないんで、
01:51:50	いう話なのか、でもこれ見ると、
01:51:53	統一は DOWA での組み合わせ考慮するときにもやっぱり、
01:51:56	パルスを考慮した、しない時間か。
01:51:59	蝶理関田 0 継続時のこの評価もいるっていうことになるよ、
01:52:03	これが残ると。あれそもそもコメント回答って何でしたっけ。
01:52:07	位相をずらした検討入りませんかと。
01:52:10	言っていたところには、当然、
01:52:12	それやってないわけですね今。
01:52:16	あれその部分って、
01:52:18	このパルスを考慮しない時間とか貯留堰を下回る継続時間が宙ぶらりんに残ってると。
01:52:23	これはやらなくていいんでしょかっていう話にもなるし、
01:52:26	そもそもこの保守性を考慮した時間を定義することによって、
01:52:31	位相のをずらす検討は要らないんですっていう理由も、この前回のヒアリングで書いてないですねと聞きましたけど多分今回も書いてない。
01:52:40	コメント回答のところにも、
01:52:42	加古川、
01:52:44	赤字で書いてあるのは、
01:52:48	前回、あれかな、7 ページ見ると、移送の変動考慮する必要がないとする根拠というところを左側に赤字で書いていて、右側は保守性を考慮した時間。
01:52:58	の妥当性を示すと言ってるんだけど、
01:53:01	やっぱりこの間が抜けて、
01:53:04	まず保守性を考慮した時間というものをしてあげれば、この移送の変動を考慮する必要はないっていうのは、
01:53:11	多分何かしら
01:53:12	理由があるのでしょうか、根拠はですね。
01:53:16	もう話が飛んでますねってのは前回ヒアリング行ったつもりですけど、すいません規制庁の名倉ですけど私の理解してるところでいくと、
01:53:26	水位下降側は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:53:28	時間評価でも見ますということであれば、その考え方で統一した方がいいんじゃないかなってそういう考え方で統一した観点で見たときに、
01:53:39	水位下降量に着目した場合っていうのはこれは、
01:53:44	あくまでも数、こちらの方が参考の参考というか、
01:53:48	それ泥酔下降量の観点で最大値を生むようなケースに対して、
01:53:56	時間的な観点で見たときに、例えば保守性を考慮した時間でいくと、
01:54:01	例えば 9.942.3611.29、12、12.30 っていうのを頼って、その各
01:54:08	あのモデルごとに出てるんだけどこれがどれぐらいの時間になるかって参考で書いとけばそれでいいんじゃないですか。
01:54:16	それが目的ですよ。
01:54:18	さっき、すいません議論だったのかもしれないけど、
01:54:24	時間的な観点を重視するのはもう決め、決め事であって、
01:54:29	そこ 2、
01:54:31	水位上昇量が最大のケースに関してもう考慮しておく必要があるっていうんだったら、
01:54:38	これに対して時間が干して保守性を考慮した時間が大体どれぐらいだったかっていうのを参考で見ましたっていう、
01:54:46	そういうことのような気がしたんですけど、並列並列して並列的にこう書いておく意味。
01:54:52	ウワー。
01:54:54	逆にか書くんであればスイカ考慮の観点からもじゃあは現地選定した方がいいんじゃないですかって参考であったとしても、観点違うんだから、
01:55:03	ってなっちゃうのでちょっと何かここら辺の意味合いをしっかり。
01:55:07	固めていただけたらなと思います。
01:55:11	他のサイトでは水位下降量と時間両方で出してるところもあれば肩代わり出してるところもあるので、
01:55:19	このサイトの条件でどうするかっていうことだと思います。
01:55:50	北海道電力奥寺です。
01:55:56	補正を考慮する時間っていうのは大きい傾向からいって、水位の大きなトレンドとか変動量の大きさみたいなものによる大きな、
01:56:08	大きい意味での、
01:56:09	繋がりみたいなものはあるなとは思っております。
01:56:15	もういい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:56:17	最終的に評価したいの保守性を考慮する時間で評価していきたいなと我々思っているんですが、
01:56:26	いろいろ、いろいろ今まで検討をやってきているんな波源というのを見てきた中で、
01:56:32	最終的に大きい値っていうのを評価する観点からいろいろな、
01:56:38	その今まで検討した結果を、
01:56:41	幅広にケースを多く見ていく方が最終的な評価は大きくなるんじゃないかどうかと。
01:56:46	ということで、参考値という書き方はしているんですけども、
01:56:51	今まで検討してきた値は残しながら、最大探しに行ったというのがこの29ページの伊藤ですけども、
01:57:00	ちょっと話かみ合っていたかどうか、なんですけども、以上です。
01:57:05	規制庁の名倉です。私が心配した何かっていうと具体的に言ってしまうと、
01:57:10	保守性を考慮した時間で863秒決まってる派遣は、
01:57:14	3号炉取水口の水位下降量が最大のケースとほぼ一致してるんです。
01:57:21	ということは、最大水位を、最大水位下降量を出すような波源。
01:57:27	パターン。
01:57:28	卵巣パターンと波源パラメーターっていうのは、時間とも関連をしていると。
01:57:35	そういう意味で、
01:57:40	水位下降量が最大の各地形モデルで最大となっているものに対しての保守性を考慮した時間がどれぐらいになっているか確認しないと、
01:57:50	漏れが出てくる可能性はありませんかって聞いてるんです。
01:57:55	派遣一緒ですよ。
01:57:57	7東出15キロ深さが3キロか5キロ。
01:58:02	で、組み合わせ時間90秒で上の方は40秒90500秒ぐらいなので、必ずしも一致する時間ではないんだけど高さとか、
01:58:12	うん。こちら辺はもしかしたら、
01:58:17	そういうことないですか。
01:58:20	7、東へ15キロ。
01:58:23	3キロの90秒っていうことでいくと、おそらく、
01:58:28	一番上の列の右側カバーしてるんだけど、左側の三つ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:58:34	わあ、これは時間的な観点では、5キロっていうのは影響しないんですよね。
01:58:44	たまたまだと思うんだけど、
01:58:46	保守性を考慮した時間が一番長いやつとほぼ同じケースが水位下降量のところでたくさん出てきてるんだけど、
01:58:54	これって、
01:58:55	時間的日時間評価保守性を考慮した時間っていうのはどれぐらいになっているのかちゃんと見てますよね、確認してますよねって。
01:59:05	私はそれが言いたいです。
01:59:21	今聞いているのは、影響する結果に影響するかもしれないから聞いているんです。
01:59:27	いやすみません時間ないって言われてるけど、
01:59:29	事実確認としてこれ確認してるんですかって、私はすいませんそれがこれ、見たときに気になったんですけど。
01:59:37	こちら辺は、
01:59:39	結果に影響するから聞いているんですけど、
01:59:42	大丈夫ですか。
01:59:44	北海道電力の青木ですと、今回の保守性高齢者時間の最大ケースの出し方っていうところは、追加解析やったり、既往の検討でやってたケースすべての結果を見た上で一番大きくなる値っていうような抽出の仕方になっておりますのでそういった観点だと、
02:00:01	今選んでる最大径整理上回る波源はないというふうに考えております。その中で水位下降量の一番厳しくなるやつが保守性を考慮した時間がどれぐらいになるかっていうところも値確認しておりますて、
02:00:14	その中で今の最大値より、当然下回るっていうか、家関係を確認してるんですけどその相関っていうところまでちょっと踏み込めて確認できないところにちょっと検討させていただきたいと思います。以上です。
02:05:28	技術なんで、多分、
02:05:31	何か保守性を考慮した時間を定義したことによって地震単独では58ページですよ。
02:05:36	ここをもう1回やり直して、
02:05:40	ていうところがだからさっき谷が言ったように、間がすっぽり抜けちゃった。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:05:44	フローは書いてあるんだけどそのあとそれに、この方針に従って、何をやったのか抜けていて、
02:05:50	地震による津波単独に立ち返ってやりました。
02:05:55	ここもう、58 ページとか、実は 93 ページの注釈文字な間が抜けてるんですけど、保守性を考慮した時間を加えて評価した結果、
02:06:07	何故か、貯留堰を下回る継続時間とかパルスを考慮しない時間の方の結果が変わりましたっていうのも、多分これ前回は聞いてる間が取ってるはずで、
02:06:15	こっちは変わるはずないよね本来は、多分何らかであのケースをふやしたんだと思うんですけど、その時に、
02:06:22	こっちが理由だと思いますけどね。
02:06:24	で、地震に単独に立ち返って評価をしてただそのときに、
02:06:29	何かしら理由があって保守性を考慮した時間だけ評価をすると、やっぱりこう組み合わせまで考えると、組み合わせのときにより厳しくなるような、
02:06:39	ケースが抜け落ちる可能性があるので、これは貯留堰を下回る時間とかパルスを考慮しない時間も残しました。
02:06:46	そうすると、983 ページの結果としてこうなりました。
02:06:51	うんステップがあると思うんですけど。
02:06:54	うん。
02:06:56	今何度か多くして行って、ようやく
02:06:59	なぜ残しているのかは、
02:07:03	ただ、ちゃんと説明しないと、こう安直にいやいやこれ保守性を考慮した時間だけのコストですね。
02:07:10	ほかもっと大きくなる波源が抜け落ち連で人だけわれると、これ本当大丈夫かってなってしまうんでね。
02:07:16	ここら辺は、結局、
02:07:18	これで敷地への影響が大きいのは元を選べてる十分だっていうところを最後ご説明してもらわなきゃいけないのに、
02:07:26	ちょっと抜け落ちる可能性がみたいな話を、
02:07:29	こうしだと、十分性のところで、
02:07:32	説明が不十分できてませんということになるので、
02:07:36	ちょっと考え方を整理してもらいたいですねここは。
02:07:43	北海道電力奥寺です。少しプロセスとか考え方のところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:07:49	補足できるように、
02:07:52	検討したいと。
02:10:30	谷ですけど、あとねやっぱり 32 ページのこの説明っていうのはね、さすがにこの説明でね以上よりは下の入れ替わりが発生していないって、これはないですね。
02:10:41	なぜならば下の入れ替わり発生していますからその、
02:10:45	主要な断層パラメータの変更発生していないって、いや、これ主要な断層パラメータでしょ、パターン7とパターン6 変わるっていうの。
02:10:54	ちょっとねこれは説明の仕方を考えてくださいこれ。
02:10:58	前回そのまま鈴木さんも言ったことですよ。
02:11:04	で、ここ多分大事な説明の部分です。
02:11:08	もう1点はですね、
02:11:11	よ。
02:11:12	もっと細かい確認した、したかったところあるんですけどね。
02:11:16	これ、181 ページなんですけれども、
02:11:23	これ前も確認しましたけれども、
02:11:29	181 ページのね、一番下、下の表の3号炉取水口のところで、上縁深さが0キロの時3キロの時5キロの時っていうのをこう、
02:11:42	因子分析的なことをやって、
02:11:46	水彩では5キロですというふうな説明してるんですけども、
02:11:51	これ何でこの地形モデル、青の線ですね地形モデル2の時には、
02:11:57	5キロよりも3キロの方が高い水位になるじゃないですか。
02:12:03	それを選ばなくていいって考えて、僕選べって言うわけじゃないですよ。選ばなくていいっていう整理を、
02:12:11	どう、
02:12:13	どうした。
02:12:14	どうしてそういう整理は、
02:12:18	されてるんですか。
02:12:20	その理由って、
02:12:25	何か書いている。
02:12:27	ここは北海道電力送るようです。
02:12:30	全体的な傾向を見た上で、この断層面上縁深さの、
02:12:36	変動っていうのはそのそもそも小さいと考えているので、
02:12:41	全体見たときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:12:43	5、5 敬老が優勢っていうところで代表させていいんじゃないかと思っ ているので、今、
02:12:51	181 ページの例で言いますと、
02:12:54	黄色で、三つ、取水口と二つと降水並べてますけれども、
02:13:01	そもそも変動が小さいということを確認しているので代表一つで評価し ても問題ないであろうというところで考えてございます。以上です。
02:13:10	井谷ですその辺ねこれ見てて。
02:13:15	この説明からは読めなかったんだけどな。何か影響は小さいから、
02:13:23	何かもうちょっと説明した方がいいんじゃないすかととにかくあれです ねこの辺の細かい話とかはこの詳細パラでは特にこう、
02:13:33	出すようなもんじゃないよと。
02:13:36	それはあれなんですかこの5キロの係数で。
02:13:44	をやっとけば、
02:13:47	プラスアルファなんて高高。
02:13:50	10センチとかそういうもんだからいいんだとかそういう。
02:13:54	発想。
02:14:02	変わる。
02:14:08	あまり、
02:14:10	はい。
02:14:12	北海道電力奥寺です。例えば3号炉取水口ですと、
02:14:18	起きろが一番高い。
02:14:21	H2号炉取水口ですと、
02:14:25	3キロ5キロがドーッと。
02:14:28	そしてホース移行ですとか、キロがっていうところで、全体傾向とし て、
02:14:33	5キロメートル
02:14:35	で代表させても、施設施設といいますか泊の敷地の評価としては問題な いんじゃないかと。
02:14:43	そういう意味合いで5キロを代表させてます。
02:14:45	以上です。
02:14:47	井谷です。あのねそこをね多分ねこの詳細パラメータスタディで何を、
02:14:53	何を行を整理するためにこの詳細パラスタやってて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:14:58	それはこういう考え方でやるんですっていうのん、まずちょっと整理してもらわないと何かこれ、多分ちまちまとこういうのはどうすんですかとか、実際はもうあと、
02:15:09	5センチ高いんじゃないですかとか、そういう色にこうなっちゃいそうなの。
02:15:15	ところだなんて思って。
02:15:17	ますので、まずはちゃんと考えを整理してください。
02:15:42	時間が当たらないのであればもともとじゃ時間をもっと大きく設定すればいいんじゃないかなと思うんだけど、
02:15:49	もし時間がないんだったらすいません影響が大きい。
02:15:54	と思われるようなない内容の事実確認をちょっと優先して、
02:15:59	やるとか。
02:16:01	ちょっとそうした方がいいんじゃないかなって思いますけど。
02:16:05	影響が大きいところはもうすべて、
02:16:08	うん。
02:16:09	確認した。
02:16:28	規制庁谷です。ちょっと時間も押してもヒアリング終わろうと思うんですけど道口さんとか何かここ、これだけは言っておきたいこととか、確認したいことありましたら、
02:16:40	すいません三菱です。いや、大丈夫です。すいません。
02:16:43	はい谷です。
02:16:46	それでは本日のヒアリングを終わりにします。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。